



平成25年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月7日

上場会社名 立川ブラインド工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7989 URL http://www.blind.co.jp
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)立川 光威
 問合せ先責任者 (役職名)取締役管理本部長 (氏名)金箱 聡 (TEL)03(5484)6142
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年12月期第3四半期の連結業績(平成25年1月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第3四半期	28,084	0.5	1,209	△2.5	1,269	0.9	622	46.7
24年12月期第3四半期	27,954	3.3	1,240	14.8	1,257	14.0	424	△7.9

(注) 包括利益 25年12月期第3四半期 920百万円(58.9%) 24年12月期第3四半期 579百万円(30.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第3四半期	32.01	—
24年12月期第3四半期	21.81	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年12月期第3四半期	44,129	31,827	62.8
24年12月期	44,064	31,146	61.4

(参考) 自己資本 25年12月期第3四半期 27,724百万円 24年12月期 27,050百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年12月期	—	5.00	—	5.00	10.00
25年12月期	—	5.00	—		
25年12月期(予想)				5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日～平成25年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	39,870	4.6	1,850	9.0	1,820	3.1	790	18.4	40.59

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年12月期3Q	20,763,600 株	24年12月期	20,763,600 株
25年12月期3Q	1,301,059 株	24年12月期	1,300,695 株
25年12月期3Q	19,462,724 株	24年12月期3Q	19,463,172 株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想の前提となる条件等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
（1）連結経営成績に関する定性的情報	2
（2）連結財政状態に関する定性的情報	3
（3）連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
（1）四半期連結貸借対照表	5
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
（3）継続企業の前提に関する注記	9
（4）セグメント情報等	9
（5）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、各種経済政策の効果による円高是正や株価上昇等を背景に、緩やかな回復基調となりましたが、海外経済の下振れ等、国内景気を下押しするリスクを抱えた状況で推移しました。

当社グループ関連の建設・住宅業界においては、低金利環境や住宅取得支援策等により、住宅着工戸数は前年を上回るなど回復基調が続きました。

このような環境の下、室内外装品関連事業においては、新たに発売した製品の市場浸透を促進するとともに、コスト低減活動や生産性の向上を継続し、収益改善に取り組んでまいりました。

また、駐車場装置関連事業においては、メンテナンス部門の技術の向上とサービス活動の強化に努めてまいりました。

減速機関連事業においては、マーケティング活動に基づくエリア別販売活動の強化と顧客満足度の向上と生産効率の改善に努めてまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は28,084百万円（前年同期比0.5%増）、営業利益は1,209百万円（前年同期比2.5%減）、経常利益は1,269百万円（前年同期比0.9%増）、四半期純利益は622百万円（前年同期比46.7%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

[室内外装品関連事業]

昨年発売した高い遮蔽性が好評の高機能ブラインド「パーフェクトシルキー」に新たな操作仕様を追加したほか、スラット（羽根）や木部材等を自由に組み合わせて楽しめるカスタマイズブラインド「フォレティア」（木製スラット）・「アフタービート」（アルミ製スラット）において、遮蔽性や操作性が向上した高機能ラインナップ『フォレティアエグゼ』および『アフタービートエグゼ』を新たに発売しました。

さらに、カラフルな人気カラーシリーズ「マカロン」の生地遊び心溢れる楽しいデザインをプリントした「マカロンキッズ」や、「プリーツスクリーン」の新タイプとして、生地昇降コードの穴をあけない構造で光漏れを軽減し、意匠性の高い新柄をラインナップに加えた「ゼファー」（2枚の生地を前後に配したツインタイプ）および「フィューユ」（2枚の生地を上下に配したペアタイプ）を発売し、より一層の製品ラインナップの拡充を図りました。

また、5月から全国28都市において「Quality-窓から生まれる心地よい空間-」をテーマとした新製品発表会（9月まで）を開催し、新製品等の早期市場浸透に取り組んでまいりました。

以上により、売上高は24,523百万円（前年同期比2.1%増）となり、営業利益につきましては、コスト低減活動等による一層の収益改善に努めた結果、1,100百万円（前年同期比10.9%増）となりました。

[駐車場装置関連事業]

顧客のニーズに合わせた積極的な提案型営業を行い、改造・改修工事は好調に推移しましたが、主力製品である「パズルタワー」の新設需要が減少したことにより、売上高は1,497百万円（前年同期比16.9%減）となりました。営業利益につきましても、継続的な原価低減に努めましたが、56百万円（前年同期比66.6%減）となりました。

〔減速機関連事業〕

当社グループの強みを活かした特殊減速機を中心に、他社との差別化をアピールするなど、積極的な販促活動を展開したものの、製造業の設備投資が伸び悩むなど受注環境は依然として厳しく、売上高は2,063百万円（前年同期比3.3%減）となりました。営業利益につきましても、原価低減と生産性の向上に努めましたが、52百万円（前年同期比33.4%減）となりました。

（2）連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は44,129百万円で、前連結会計年度末と比較し64百万円の増加となりました。

（資産）

流動資産は26,316百万円で、前連結会計年度末と比較し134百万円の減少となりました。これは主に、棚卸資産が増加した一方で、現金及び預金、受取手形及び売掛金が減少したことによるものであります。

固定資産は17,812百万円で、前連結会計年度末と比較し199百万円の増加となりました。これは主に、ソフトウェア取得による無形固定資産の増加および保有株式の時価の上昇等による投資有価証券の増加によるものであります。

（負債）

負債は12,301百万円で、前連結会計年度末と比較し616百万円の減少となりました。これは主に、賞与引当金が増加した一方で、支払手形及び買掛金、未払金ならびに退職給付引当金が減少したことによるものであります。

（純資産）

純資産は31,827百万円で、前連結会計年度末と比較し681百万円の増加となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金の増加および四半期純利益によるものであります。なお、自己資本比率は62.8%と、前連結会計年度末と比較し、1.4ポイントの増加となりました。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

今後の見通しにつきましては、各種政策の効果が持続し、景気回復の動きが確かなものとなることが期待されます。

このような環境の下、引き続きお客様の多様なニーズに応えるため、積極的な製品開発を図るとともに、効果的な販促活動を行うことで市場浸透を促進し、さらなる売上向上及び収益確保に努めてまいります。

これらを踏まえ、平成25年12月期の通期の連結業績予想につきましては、現時点において平成25年2月8日に公表しました予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成25年1月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,876,796	8,671,532
受取手形及び売掛金	11,606,804	11,365,929
商品及び製品	757,999	632,528
仕掛品	1,196,068	1,258,296
未成工事支出金	105,440	99,512
原材料及び貯蔵品	2,837,393	3,136,920
その他	1,105,025	1,161,453
貸倒引当金	△34,586	△9,674
流動資産合計	26,450,942	26,316,498
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	12,615,436	12,694,067
減価償却累計額	△7,752,322	△7,987,872
建物及び構築物 (純額)	4,863,113	4,706,195
土地	7,314,565	7,331,285
その他	13,859,970	14,302,980
減価償却累計額	△12,466,564	△12,807,160
その他 (純額)	1,393,405	1,495,819
有形固定資産合計	13,571,085	13,533,300
無形固定資産	424,825	533,838
投資その他の資産		
投資有価証券	1,423,721	1,776,015
その他	2,260,426	2,029,406
貸倒引当金	△66,531	△60,006
投資その他の資産合計	3,617,616	3,745,414
固定資産合計	17,613,527	17,812,553
資産合計	44,064,469	44,129,051

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,389,298	6,117,549
未払法人税等	413,428	334,809
賞与引当金	176,372	670,306
役員賞与引当金	62,294	40,186
製品保証引当金	3,027	3,381
その他	2,061,893	1,525,286
流動負債合計	9,106,315	8,691,519
固定負債		
退職給付引当金	3,253,461	3,083,318
役員退職慰労引当金	287,907	296,994
その他	270,695	230,103
固定負債合計	3,812,063	3,610,417
負債合計	12,918,378	12,301,936
純資産の部		
株主資本		
資本金	4,475,000	4,475,000
資本剰余金	4,395,000	4,395,000
利益剰余金	18,850,480	19,278,775
自己株式	△666,256	△666,433
株主資本合計	27,054,224	27,482,342
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△1,278	211,555
繰延ヘッジ損益	2,424	60
為替換算調整勘定	△4,526	30,314
その他の包括利益累計額合計	△3,380	241,931
少数株主持分	4,095,247	4,102,841
純資産合計	31,146,091	31,827,115
負債純資産合計	44,064,469	44,129,051

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
売上高	27,954,288	28,084,569
売上原価	16,329,129	16,454,906
売上総利益	11,625,159	11,629,663
販売費及び一般管理費	10,384,280	10,419,736
営業利益	1,240,879	1,209,926
営業外収益		
受取利息	2,505	2,428
受取配当金	23,142	25,109
不動産賃貸料	26,120	23,135
為替差益	—	35,776
その他	53,009	58,093
営業外収益合計	104,778	144,542
営業外費用		
支払利息	13	19
手形売却損	20,771	18,839
売上割引	54,289	56,617
その他	12,716	9,247
営業外費用合計	87,790	84,723
経常利益	1,257,866	1,269,745
特別利益		
固定資産売却益	35,724	248
特別利益合計	35,724	248
特別損失		
固定資産除売却損	65,794	4,524
減損損失	60,828	—
投資有価証券評価損	7,619	—
投資有価証券売却損	15	—
会員権評価損	300	—
特別損失合計	134,557	4,524
税金等調整前四半期純利益	1,159,033	1,265,469
法人税、住民税及び事業税	707,688	670,237
法人税等調整額	△45,477	△66,438
法人税等合計	662,211	603,798
少数株主損益調整前四半期純利益	496,822	661,670
少数株主利益	72,338	38,747
四半期純利益	424,484	622,922

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年1月1日 至平成24年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年1月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	496,822	661,670
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	81,402	226,836
繰延ヘッジ損益	△1,113	△2,363
為替換算調整勘定	2,574	34,841
その他の包括利益合計	82,862	259,313
四半期包括利益	579,685	920,984
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	500,840	868,234
少数株主に係る四半期包括利益	78,844	52,749

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年1月1日 至 平成24年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,017,407	1,801,892	2,134,989	27,954,288	—	27,954,288
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	56,701	56,701	△56,701	—
計	24,017,407	1,801,892	2,191,691	28,010,990	△56,701	27,954,288
セグメント利益	992,763	168,732	79,383	1,240,879	—	1,240,879

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年1月1日 至 平成25年9月30日)

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	室内外装品 関連事業	駐車場装置 関連事業	減速機 関連事業			
売上高						
外部顧客への売上高	24,523,135	1,497,718	2,063,715	28,084,569	—	28,084,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	33,960	33,960	△33,960	—
計	24,523,135	1,497,718	2,097,676	28,118,530	△33,960	28,084,569
セグメント利益	1,100,711	56,371	52,842	1,209,926	—	1,209,926

(注) 1 セグメント売上高の調整額は、セグメント間の内部売上高消去額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。